

## 飛騨 位山 スキーツアー H21.1.25

メンバー：K.A H.M J.M I.O K.O(記録)

天候：曇りときどき小雪(気圧配置は西に偏った変形冬型)

コースタイム：モンデウス位山スキー場リフト終点出発 9:00～頂上 3名着 11:10～最終者着 11:40

出発 12:05～モンデウススキー場リフト終点 13:10～ゲレンデ下リフト乗り場 13:30

この時期の山スキーを計画するとき、様々な要因を視野に入れて立案することが必要になります。その中でも最も重要なことは天候です。常識的なことですが積雪を確かめ天候を見極めて判断しなければなりません。今回は前もって条件の違う2つの候補をまず選びました。一つはめいほうスキー場からオサンババ・烏帽子岳、もう一つはモンデウス位山スキー場から位山です。地域的にはどちらも飛騨地方に属しており、標高もほとんど変わりませんが、地形的な違いから来る諸条件の違いがあります。めいほうスキー場からオサンババ・烏帽子岳の場合、スキー場のリフトが高いところまで上がっているためピークまでの標高差はあまりありません。このコースの魅力は展望の素晴らしさです。そして積雪量の違いと植生の違いがあります。こちらの方はより西面に位置しているため積雪量が多く、稜線上の樹林は少ない分、山スキー向きです。しかし、北西の風が強まる冬型気圧配置の場合、風雪の影響をまともに受ける上、尾根が広く目印がわかりにくいいためルートファインディングが難しいです。もちろんGPSの利用によって困難度は低くなりますが、このコースの魅力はまったく半減してしまいます。一方の位山はまったくの藪山であり、稜線上の樹林も多く、展望はあまり望めず山スキーには不向きです。オサンババ・烏帽子岳を5点とすると、こちらは3点ぐらいです。

以上のような2つのコースの概要を調べた上で、直前の天気予想を判断した結果、今回は位山に決定しました。さらに先週の天和山において、藪山にはミニスキーの利用が適切であることを確認していましたので、今回、I.Oさんはミニスキーを試みました。登りはスノーシュー、下りはミニスキーです。山スキー経験のないI.Oさんには最適な選択でした。ちょっとしたアクシデントは出がけに起こりました。H.Mさんがシールを忘れた為、J.Mさんはツボ足で歩くことになったのです。途中で断念かなとも思いましたが、部分的に腰まで潜りながらも頂上まで登りました。大変ご苦労さまでした。

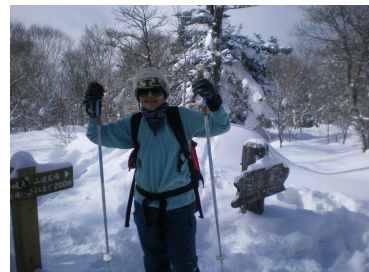
なお今回、私は先日購入したスキーブーツを使いましたが、登りの可動域も十分満足でき、また滑りのときの足のホールド感もよく、満足できました。



モンデウススキー場トップ



位山頂上



J.Mさん到着・ツボ足でご苦労様

ホームページへ <http://allmthp.infoseek.co.jp/>